

# いきいき安心プランⅥ策定 のためのアンケート調査 【調査分析】

正規職員・非正規職員別の介護従事者調査の概要

平成29年度第3回松戸市高齢者保健福祉推進会議

平成29年10月30日（月）

## 基本的事項及び就労状況について

### Q1. 性別

		全体	男性	女性	無回答
全体		2,434 100.0	515 21.2	1,896 77.9	23 0.9
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	401 34.5	756 65.1	5 0.4
	非正規雇用	1,255 100.0	112 8.9	1,131 90.1%	12 1.0
	無回答	17 100.0	2 11.8	9 52.9	6 35.3

➤ 非正規職員の約9割は女性である。

### Q2. 年齢

		全体	19歳以下	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上	無回答
全体		2,434 100.0	10 0.4	243 10.0	480 19.7	661 27.2	479 19.7	424 17.4	122 5.0	15 0.6
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	9 0.8	190 16.4	312 26.9	339 29.2	239 20.6	68 5.9	2 0.2	3 0.3
	非正規雇用	1,255 100.0	1 0.1	52 4.1	168 13.4	321 25.6	239 19.0	351 28.0	117 9.3	6 0.5
	無回答	17 100.0	- -	1 5.9	- -	1 5.9	1 5.9	5 29.4	3 17.6	6 35.3

➤ 非正規職員の81.9%は40歳以上で、正規職員に比べると年齢層が高い。

Q3. 居住地

		全体	松戸市内	松戸市隣接市	東京23区	その他	無回答
全体		2,434 100.0	1,553 63.8	565 23.2	47 1.9	252 10.4	17 0.7
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	641 55.2	328 28.2	29 2.5	160 13.8	4 0.3
	非正規雇用	1,255 100.0	904 72.0	234 18.6	18 1.4	92 7.3	7 0.6
	無回答	17 100.0	8 47.1	3 17.6	- -	- -	6 35.3

➤ 非正規職員の72%は市内から通勤している。

Q16. 年収

		全体	103万円以下	110万円未満	110万円超	120万円未満	120万円超	130万円未満	130万円超	140万円未満	140万円超	150万円未満	150万円超	60万円以上	無回答
全体		2,434 100.0	544 22.4	279 11.5	313 12.9	328 13.5	298 12.2	256 10.5	160 6.6	141 5.8	40 1.6	16 0.7	59 2.4		
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	12 1.0	24 2.1	80 6.9	192 16.5	247 21.3	230 19.8	149 12.8	133 11.4	40 3.4	15 1.3	40 3.4		
	非正規雇用	1,255 100.0	527 42.0	253 20.2	231 18.4	131 10.4	50 4.0	24 1.9	11 0.9	8 0.6	-	-	19 1.5		
	無回答	17 100.0	5 29.4	2 11.8	2 11.8	5 29.4	1 5.9	2 11.8	-	-	-	-	-		

➤ 非正規職員の年収は130万円未満が多く、正規職員は250万円以上が多い。

Q17. 労働日数

		全体	1日	2日	3日	4日	5日以上	不定	無回答
全体		2,434 100.0	44 1.8	150 6.2	342 14.1	443 18.2	1,181 48.5	241 9.9	33 1.4
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	- -	13 1.1	25 2.2	106 9.1	838 72.1	166 14.3	14 1.2
	非正規雇用	1,255 100.0	44 3.5	137 10.9	315 25.1	332 26.5	333 26.5	75 6.0	19 1.5
	無回答	17 100.0	- -	- -	2 11.8	5 29.4	10 58.8	- -	- -

➤ 正規職員の1週間あたりの勤務日数は72.1%が5日以上であるのに対し、非正規職員の勤務日数は78.1%が3日から5日までの間にほぼ均等におり、ばらつきがある。

Q18. 労働時間

		全体	10時間未満	10時間以上20時間未満	10時間以上30時間未満	20時間以上30時間以上	30時間以上40時間以上	不定	無回答
全体		2,434 100.0	396 16.3	358 14.7	263 10.8	1,077 44.2	248 10.2	92 3.8	
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	123 10.6	30 2.6	33 2.8	741 63.8	194 16.7	41 3.5	
	非正規雇用	1,255 100.0	268 21.4	327 26.1	229 18.2	328 26.1	53 4.2	50 4.0	
	無回答	17 100.0	5 29.4	1 5.9	1 5.9	8 47.1	1 5.9	1 5.9	

➤ 非正規職員の1週間あたりの労働時間は10時間未満から40時間未満までの間でばらつきがある。

Q19. 超過勤務時間

		全体	超過勤務はない	10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上40時間未満	40時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上70時間未満	70時間以上80時間未満	80時間以上100時間未満	100時間以上	無回答
全体		2,434 100.0	1,051 43.2	807 33.2	260 10.7	126 5.2	54 2.2	41 1.7	9 0.4	8 0.3	5 0.2	16 0.7	15 0.6	42 1.7
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	262 22.5	502 43.2	183 15.7	102 8.8	39 3.4	33 2.8	3 0.3	6 0.5	2 0.2	4 0.3	9 0.8	17 1.5
	非正規雇用	1,255 100.0	787 62.7	297 23.7	76 6.1	20 1.6	15 1.2	8 0.6	6 0.5	2 0.2	3 0.2	12 1.0	6 0.5	23 1.8
	無回答	17 100.0	2 11.8	8 47.1	1 5.9	4 23.5	-	-	-	-	-	-	-	2 11.8

➤ 非正規職員の月平均の超過勤務時間は「超過勤務はない」と「10時間未満」で86.4%。

Q22. 介護転職経験

		全体	1回	2回	3回以上	他業界からの転職) なし(新卒、	無回答
全体		2,434 100.0	554 22.8	275 11.3	367 15.1	1,174 48.2	64 2.6
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	260 22.4	144 12.4	195 16.8	537 46.2	26 2.2
	非正規雇用	1,255 100.0	289 23.0	130 10.4	169 13.5	631 50.3	36 2.9
	無回答	17 100.0	5 29.4	1 5.9	3 17.6	6 35.3	2 11.8

➤ 転職経験がない職員は正規職員・非正規職員とも約半数。

## 就労意識について

Q20. 仕事を選択理由 【3つまでの複数回答】

		給与（賃金）がよかつたため	通勤の便がよかつたため	自分や家族の都合の良い時間（日）に働けるため	この仕事はこれからの時代にはますます必要になると考えたため	やりがいを感じられる職業だと思ったため	福祉の仕事に興味、関心があつたため	資格、技能を生かすため	他の職業に求人になかつた、または採用されなかつたため	その他	特に理由はない	無回答	
	全体	2,434 100.0	196 8.1	961 39.5	654 26.9	593 24.4	759 31.2	721 29.6	724 29.7	134 5.5	174 7.1	102 4.2	27 1.1
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	99 8.5	430 37.0	114 9.8	337 29.0	396 34.1	378 32.5	340 29.3	77 6.6	98 8.4	60 5.2	17 1.5
	非正規雇用	1,255 100.0	95 7.6	526 41.9	536 42.7	253 20.2	357 28.4	339 27.0	379 30.2	56 4.5	74 5.9	42 3.3	10 0.8
	無回答	17 100.0	2 11.8	5 29.4	4 23.5	3 17.6	6 35.3	4 23.5	5 29.4	1 5.9	2 11.8	-	-

- 仕事を選択した理由は「通勤の便がよかつた」以外では、正規職員は「やりがいを感じられる職業だと思った」や「福祉の仕事に興味・関心があつた」が比較的高い傾向にあるが、非正規職員は「都合の良い時間で働ける」を重視している。

Q21. 就職のきっかけ

		新聞広告等の求人募集に応募	就職相談会、説明会に参加	就職情報誌の情報	インターネットの情報	母校の進路指導	家族、知人の紹介	事業所職員からの勧誘	公共職業安定所を通じて応募	人材派遣会社の紹介	その他	無回答	
	全体	2,434 100.0	521 21.4	75 3.1	75 3.1	236 9.7	99 4.1	535 22.0	163 6.7	323 13.3	162 6.7	209 8.6	36 1.5
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	167 14.4	46 4.0	28 2.4	140 12.0	76 6.5	251 21.6	75 6.5	195 16.8	88 7.6	85 7.3	11 0.9
	非正規雇用	1,255 100.0	351 28.0	28 2.2	47 3.7	95 7.6	23 1.8	280 22.3	87 6.9	124 9.9	73 5.8	123 9.8	24 1.9
	無回答	17 100.0	3 17.6	1 5.9	-	1 5.9	-	4 23.5	1 5.9	4 23.5	1 5.9	1 5.9	1 5.9

- 就職のきっかけは「家族、知人の紹介」以外では、正規職員は「公共職業安定所を通じて応募」が高く、非正規職員は「新聞広告等の求人募集に応募」がきっかけとなることが多い。

Q22-1. 転職理由 【3つまでの複数回答】

	全体	能力や実績に比べて、収入が少なかったため	法人や施設事業所の理念や運営の在り方に不満があったため	長時間労働が常態化していたため	勤務ローテーションやシフト体制等が不規則だったため	有給休暇や特別休暇等が取得しづらかったため	育児・介護の休暇等の支援体制や資格支援等の福利厚生が充実していなかったため	役職配置や給与体系等のキャリアアップの仕組みがなかったため	人員整理、勤奨退職または法人解散等のため	職場の人間関係に問題があったため	家族の看護、介護のため	結婚や出産、転居、病気のため	その他	無回答
全体	1,196 100.0	247 20.7	345 28.8	168 14.0	137 11.5	112 9.4	30 2.5	56 4.7	53 4.4	329 27.5	66 5.5	205 17.1	246 20.6	48 4.0
雇用形態	正規職員	599 100.0	147 24.5	200 33.4	114 19.0	56 9.3	72 12.0	39 6.5	21 3.5	168 28.0	21 3.5	81 13.5	123 20.5	23 3.8
	非正規雇用	588 100.0	98 16.7	142 24.1	54 9.2	81 13.8	40 6.8	9 1.5	16 2.7	158 26.9	45 7.7	120 20.4	122 20.7	25 4.3
	無回答	9 100.0	2 22.2	3 33.3	-	-	-	2 22.2	1 11.1	-	3 33.3	-	4 44.4	1 11.1

- 転職理由で差があったのは、正規職員では「能力や実績に比べて、収入が少なかったため」や「法人や施設事業所の理念や運営の在り方に不満があったため」が多く、非正規職員は「結婚や出産、転居、病気のため」が多い。

Q23. 就労継続意向

	全体	今の状況のままでも続けていきたい	わかからない	その他	無回答			
全体	2,434 100.0	853 35.0	904 37.1	59 2.4	494 20.3	84 3.5	40 1.6	
雇用形態	正規職員	1,162 100.0	304 26.2	554 47.7	39 3.4	215 18.5	31 2.7	19 1.6
	非正規雇用	1,255 100.0	540 43.0	346 27.6	20 1.6	277 22.1	53 4.2	19 1.5
	無回答	17 100.0	9 52.9	4 23.5	-	2 11.8	-	2 11.8

- 就労継続移行は、正規職員では「給与体系、休暇支援体制等の福祉厚生、人材の育成、人間関係等の労働環境が改善されれば続けていきたい」が多く、非正規職員は「今の状況のままでも続けていきたい」が多い。

## 正規職員と非正規職員の就労状況、就労意識の違い

### 【非正規職員像について】

- 非正規職員の多くは女性、40歳以上、市内在住、収入が130万円未満、超過勤務は少ないということは共通しているが、働く日数や時間は人により異なる。

### 【人材確保について】

- 正規職員は家族・知人からの紹介のほか、ハローワークを通じての採用が多いので、ハローワークの活用を促すことや、何らかの方法により市とハローワークが連携することが有効と思われる。
- 非正規職員は新聞広告による求人が比較的有効であることから、広報まつどによる募集などでも応募がある可能性がある。また、40歳以上が多いこと、過去に離職した理由が結婚や出産、転居であること、資格、技能を活かすことが仕事を選択した理由としている人が一定数いることなどから、資格のある人の再就職を促すことにより非正規職員を確保できる可能性がある。

### 【離職防止について】

- 正規職員が仕事を選択した理由としては、「やりがいを感じられる職業だと思った」や「福祉の仕事に興味・関心があった」が多く、過去の転職理由では「能力や実績に比べて、収入が少なかった」が比較的多くなっていることから、離職防止のためには、キャリアアップの仕組み（能力や実績に応じて役職や給与を決定する仕組み）の構築が重要だと考えられる。また、正規職員については、過去の転職理由では「法人や施設事業所の理念や運営の在り方に不満があったため」、「職場の人間関係に問題があったため」が多くなっており、また、就労継続意向としては、「給与体系、休暇支援体制等の福利厚生、人材の育成、人間関係等の労働環境が改善されれば続けていきたい」が多くなっていることから、離職防止のためには、雇用管理改善が重要だと考えられる。
- 非正規職員については、40歳以上の女性で、収入が103万円以下である場合が多く、かつ、仕事の選択理由として「自分や家族の都合の良い時間（日）に働けるため」が多い。また、過去の転職理由としては「能力や実績に比べて、収入が少なかったため」が比較的少ない一方で、「結婚や出産、転居、病気のため」が比較的多くなるとともに、就労継続意向については、「今の状況のままでも続けていきたい」が多くなっている。これらのことから、非正規職員の離職防止のためには、収入よりも、家庭生活等の事情に応じた働きやすい環境の整備の方が重要になると考えられる。